

森に行こう、森で遊ぼう

1 活動の概要

森の中を散策しながら、森の自然に触れたり、本の読み聞かせや森の精の話をしたりして、隠れ家づくりの場所を探す。森の精“グリリン”に出会い、隠れ家づくりへの意欲を高め、グループ毎に、場所を決めたら、隠れ家づくりをする。途中で、他のグループのよさを取り入れたり、見学して遊んだりして楽しむ。

2 活動のねらい

森の自然に触れ、自然の中で様々な植物等を活用して隠れ家づくりをすることによって、自然物への興味関心を高める。また、グループ毎に場所や内容決めをして隠れ家づくりに取り組むことによって、創造力、協調性、やり遂げる力を高める。

3 準備するもの

- 森の中で読み聞かせする絵本
- 森の精“グリリン”の衣装
- 森の隠れ家づくりに必要な道具（ゴザ、布、ひも、テープ類、のこぎり等）

4 活動場所

国立夜須高原青少年自然の家

（本館→ロッジA・ロッジBに向かう森の中→ロッジA・ロッジBの間の小道に入った所の両側の森の中）

※一般的には、樹木等一部切断・収拾可能な森の中

5 活動の展開

(1) 森に行こう

- ①「森におじゃまします」（森の散策）
 - ・森の中を散策し、五感を使って森の自然を楽しむ
 - ・「おじゃまします」「おじゃましました」のあいさつ
- ②森の中での読み聞かせ
 - ・学生ボランティアによる森をテーマにした絵本の読み聞かせ
- ③森の精“グリリン”との出会い
 - ・自然を大切にしてほしいというメッセージ
 - ・森の隠れ家づくりへの意欲付け



さあ、森に入るよ「おじゃまします」



森の中で森のお話を聞く

(2) 森で遊ぼう

①森の隠れ家づくり

- ・グループ毎に隠れ家づくりの場所の選定
- ・必要な道具を使って制作

②森の隠れ家にどうぞ

- ・他のグループのいいところを取り入れる
- ・ボランティアや友だちに来てもらっていいところ自慢をする
- ・できあがった隠れ家の中で、おやつを食べたり遊んだりする
- ・自然物は残し、後片づけをする



森の精“グリリン”と出会う



完成した森の隠れ家

6 子どもの活動と留意点

○場所の設定

- ・「森に行こう」における場所については、様々な虫や植物と出会える場所を設定する。
- ・森の精“グリリン”との出会いについては、子供たちが感動するシチュエーションを工夫する。
- ・「森で遊ぼう」における場所については、樹木等一部切断・收拾可能な場所を設定する。（施設に承諾を得る。）
- ・安全性についても事前に視察し、確認する。

○ストーリー性の重視

- ・事前の活動から、森の精“グリリン”の話をして、イメージを膨らませる。
- ・現地の活動においても、意欲が持続できるよう、スタッフ全員で共通理解を図る。

○ボランティアの支援

- ・はじめて使う道具（のこぎり等）の安全な使い方を教え、一緒に体験をさせる。
- ・手を出し過ぎないように見守り、子どもが自主的、創造的に活動できるようアドバイスする。

7 活動の発展・応用

○施設で…森のスケッチ、自然物を使ったクラフト 等

○園 で…森の精“グリリン”から学んだこと（自然を大切にする等）を日常生活の中で生かす。

園の今後の保育活動に、ストーリー性を持って、意欲的に取り組みを継続していく。 等